

パステル



特集

情報との上手なつきあい方

～それってホント?～



国が具体的施策を定める第3次男女共同参画基本計画の中に「メディアにおける男女共同参画の推進」が掲げられています。「メディアを通じて共同参画に関する正しい理解を広め、固定的性別役割分担意識を解消していくため、メディア側も積極的な取組を行うよう働きかける」さまざまな情報を主体的に収集、判断し、適切に発信することができるよう、メディア・リテラシーを向上させる取り組みを継続する」等が基本的な考え方としてあげられています。

メディア・リテラシーの意味を「知恵蔵」で調べてみると「テレビ番組や新聞記事などメディアからのメッセージを主体的・批判的に読み解く能力。リテラシーというのは『読み書き能力』のことで、情報をうのみにせず、どんな意図で作られ、送りだされているかを自分の頭で判断する。そしてそれを通じて自ら情報発信する力に身につける」と載っていました。

ひと昔前に比べると、多くの人が目にするような公共性の高い空間での女性や子どもに対する

性的な描写や暴力表現は減ってきています。しかし、誰でもがインターネットから簡単に情報をキャッチすることも発信することもできる時代といえます。またテレビCMなど何度も流れる情報から、知らず知らずのうちに「女性(男性)はこうあるべき」という固定的性別役割分担意識を植え付けられているかもしれない。

今号ではメディアからの情報をそのまま受け止めず、時にはその内容が正しいのか考えることによって、自分で情報をキャッチして自分で判断する能力をどう身につけることができるのかを特集しました。

CONTENTS

特集 情報との上手なつきあい方 P1～7

パステルおすすめ本 P7

女性のための「たんぼぼ相談」P8

インフォメーション P8